

第38回 岩手県特別支援学校視聴覚教育研究大会

○レポート発表

本校からは「タブレットPCを使った学習支援の取り組み」と題して、平成23年度からの取り組みを紹介した。以下レポート概要。

タブレットPCを使った学習支援の取り組み

釜石祥雲支援学校 菊地隆介

2012/11/16 平成24年度特別研修 釜石祥雲支援学校

魔法のプロジェクトとは

- 「あきちゃんの魔法のポケットプロジェクト」携帯電話を使用した学習支援マニュアル
- 「魔法のふてばこプロジェクト」(2011.4～) iPadを使用した学習支援
- 「魔法のじゆうたんプロジェクト」(2012.4～) iPadを屋外に持ち出での支援

参照サイト: 魔法のプロジェクト <http://maho-prj.org/>

2012/11/16 平成24年度特別研修 釜石祥雲支援学校

iPadのアクセシビリティ

- ・Voice Over(自動テキスト読み上げ) 金額の方向への機能
- ・ズーム機能・テキストのポイント拡大 視力低下型LVの方向への機能
- ・「文字/背景」を「白/黒」「黒/白」 視力低下型LV_視野狭窄型LVの方向への機能

2012/11/16 平成24年度特別研修 釜石祥雲支援学校

1. レポート

2. 魔法のプロジェクト概要

3. iPadのアクセシビリティ

3. 使用したアプリケーション

アプリケーション	機能	活用方法
IC 絵カードコミュニケーション	絵カードを並べ替えた後に、吹き込んだ音声で読み上げることができる。VOCAとしても使える。	主に自立活動で使用。新設の絵カードに支援者の声を吹き込み、補助教材のノートを見ながら読み上げ替えて疑問文を作る。

2012/11/16 平成24年度特別研修 釜石祥雲支援学校

4. 児童の変化および成果

Aの選った尋ね方	Aが獲得した正しい尋ね方
「CD、」CDは、 「OOくん、CD。」	「CDを読みますか。」 「OOくんは、CDを読みますか。」 「CDを削してもいいですか。」
「掃除の先生、」 「生単の先生、」 「お弁当の先生、」 「あと、」	「掃除の先生は誰ですか。」 「生単の先生は誰ですか。」 「お弁当の先生は誰ですか。」 「あと何回ですか。」 「あと何回ですか。」
「トマトキッズはまだだって、」 (学級通信)	「トマトキッズはいつですか。」
「洗いのものは、」 「洗いのものはありませんよ。」	「洗いのものはありますか。」

2012/11/16 平成24年度特別研修 釜石祥雲支援学校

8月の尋ねる様子 (回数)
12月の尋ねる様子 (回数)
2月の様子 (回数)

参照サイト:
絵カード・IC・絵カード・コミュニケーション・サポート情報
<http://pandanote.jp/apps/picturecard-communication.html>

2012/11/16 平成24年度特別研修 釜石祥雲支援学校

4. 「事例1 コミュニケーションに課題を抱える A 君」
自立活動をととした A 君の変化と、変化の頻度を学習効果のエビデンス(根拠)として紹介した。

3. 使用したアプリケーション

アプリケーション	機能	活用方法
かなもし 「かなもし」	ひらがな・カタカナのなぞり書きを練習できる。文字をタッチすると読み上げてくれたり、単語をイラストと読み上げ機能で紹介してくれる機能も備える。	国語の時間に使用。ひらがなのなぞり書きを練習したり、読み上げてくれたり、単語をイラストと読み上げ機能を使って読み方を確認していた。
AnimalSound!	英語表記ではあるが、動物の写真をタッチすると写真と共に鳴き声を聞くことができる。	国語の時間に使用。動物の鳴き声を聞いて同じ動物のカードを選んだり、名前を答えたりする。また、鳴き声をまねすることで発音を促す。

2012/11/16 平成24年度特別研修 釜石祥雲支援学校

4. 児童の変化および成果

9月の視写

12月の視写

2012/11/16 平成24年度特別研修 釜石祥雲支援学校

【B君の個別の指導計画】

目標	指導の手立て	評価
心算復習の視写ができる。	「間違えやすい「あ」「そ」「ゆ」については、大きめの字で練習したり、iPadを使って指でなぞる練習をしたりする。 書き順も合わせて指導する。	省略

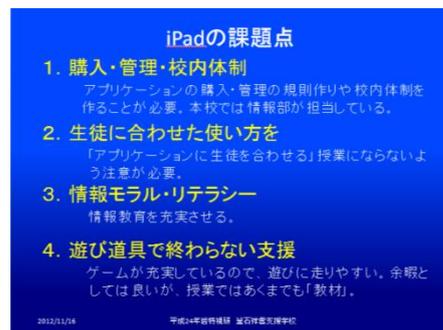
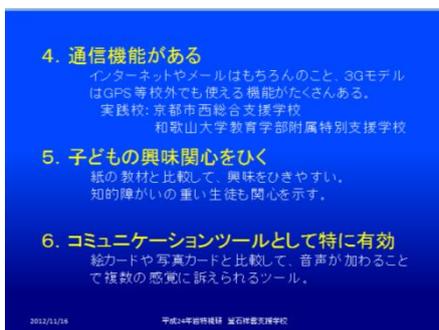
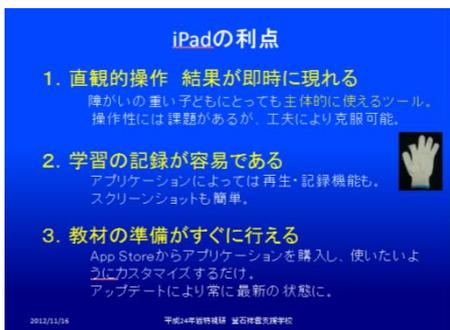
2012/11/16 平成24年度特別研修 釜石祥雲支援学校

5. 「事例2 ひらがなの学習に取り組んでいる B 君」
教科別の指導の国語における活用により、B 君がひらがなの書きとりを獲得していった事例。iPad を学習の手立てとして指導計画に盛り込んだ点も紹介。



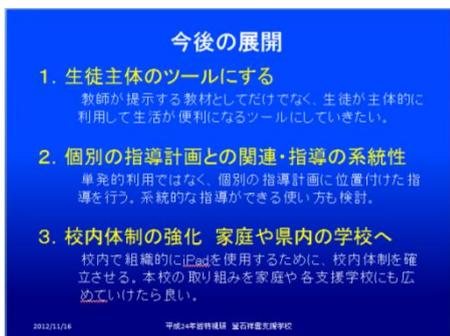
6. アプリケーションの紹介

アプリケーションの紹介と、それを活用した授業の様子を動画で紹介した。



7. iPad が教材・支援器具として優れている点

8. 活用上の課題点



9. 今後の展開

機器を動かしながら紹介した

○検討会(ワークショップ)

「タブレット PC 等の機器をこう使えたら便利」という点についてグループごとに話し合った。(KJ法)

Face Time 等の機能によって「分教室との交流で使いたい」「他校の生徒と交流したい」といった構想に加えて、通信技術の活用によって障害児者の生活が豊かになることのへ願いが挙げられた。「お店に入ったら案内図を表示してほしい」「飲食店のメニューが表示されれば…」など、タブレット端末が必要な情報を受け取り表示してくれるサービス(コピキタス・コンピューティング・クラウドコンピューティング)への期待が語られた検討会となった。